



秋田県五城目町

みんなの町議会

目次

- 6月定例会の経過 2～3
- 常任委員会の焦点 4～5
- 一般質問に5名登壇 6～10
- 消防庁舎建設・屋内温水プール整備 ... 11
- 請願・陳情 12
- あれ なんとになったべが！ 13
- 励ましの人・がんばってます 14

No.115

2013年7月1日

市神祭での天翔太鼓

議論を呼んだ

消防庁舎建設用地 補正予算案可決！

6月 定例会

議会の経過

6月定例会は6月10日から14日までの5日間の日程で開かれた。

一般質問は5人が登壇し、高齢者世帯など除雪支援の問題点、集団検診の向上対策、高齢者支援施設の建設、消防庁舎建設計画、図書室の移転整備などの質問をした。提出案件は平成25年度一般会計補正予算案、専決処分の承認案、委員会提出議案の議会会議規則の一部改正案など20件。

渡邊町長は行政報告で、「消防庁舎建設地は騒音の影響、公道乗り入れや土地の形状、ドクターヘリの離着着などについて、総合的に判断し富津内下山内地区に絞りこんだ」と述べた。

各常任委員会の審査を行い、最終日は各常任委員長報告の後、議員提出による一般会計補正予算案の修正動議案を否決し、原案について賛成多数で可決した。

固定資産評価審査委員選任案と人権擁護委員推薦案に同意、陳情3件を採択、請願1件と陳情2件を継続審査とした。委員会提出議案の「ドクターヘリの安全運航と

県民の安全・安心を守るため米軍機の低空飛行中止を求める意見書」など3件を可決して閉会した。

補正の主なもの

補正予算は1億2,856万円で累計は52億8,556万円。
消防庁舎建設事業費3,526万円、あきた未来づくりプロジェクト費2,009万円、法人経営拡大支援費374万円、商店街振興事業費941万円が主なもの。



固定資産評価審査 委員選任に同意

再任 金子 耕一氏（70歳）



西 野

新任 今村 龍雄氏（73歳）



上 町

新任 伊藤 進氏（64歳）



落 合

消防庁舎建設に係る一般会計補正予算案の 修正動議案を4議員が提出

修正動議案を

否決！

教育民生常任委員会で
は消防庁舎建設に係る部
分を賛成多数で削除・修
正した。

本会議では、館岡隆、佐藤成孝、工藤卓美、畑澤洋子の4名から消防庁舎建設について、「提案場所は町中心部から離れすぎている」などとして、設計費や土地購入費を含む関連予算3,526万円を削除する修正動議案が提出された。

修正動議案に賛成の討論

澤田石亀雄 議員

当局は、建設協議会によって消防庁舎建設が検討され、答申が出されていたにもかかわらず、判断の決定が遅れたのは失態だ。消防庁舎の早急な建設には異論はないが、今回提案された用地は、町の中心部から離れすぎているし建設用地造成に経費が掛かり過ぎる。また、無線使用に町は難があると言っていたはずだ。よりよい庁舎建設に向けてもつと議会の議論が必要と思うので、修正案に賛成する。



現消防庁舎



建設地

討論終結後、投票による採決の動議が出され、記名か無記名投票かを決めるための投票を行った結果、記名8票、無記名5票、無効1票で記名投票と決した。

記名投票の結果は次のとおり。

- 修正動議案に賛成 4票
- 修正動議案に反対 9票
- 無効 1票

修正動議案は反対多数で否決と決した。（定数16、議長・欠席者1人を除く）

最後に議長が原案賛成者の起立を求めた。

●修正予算の原案に賛成した議員

佐々木仁茂・齋藤 晋

石井 光雅・佐藤 慶彦

伊藤 正春・荒川 達雄

佐藤 重信・荒川 正己

石川 交三

●修正予算の原案に反対した議員

畑澤 洋子・館岡 隆

工藤 卓美・佐藤 成孝

澤田石亀雄

賛成者多数で原案を可決した。

人権擁護委員推薦
に同意

再任 石井 正氏（63歳）

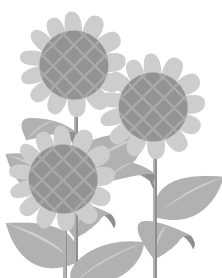


高崎字里下

再任 畠山 延子さん（56歳）



高崎字広ヶ野



（佐々木仁茂）

総務 常任委員会

五城目町過疎地域自立 促進計画の変更

平成22年9月に策定した

「五城目町過疎地域自立促進計画（22年度から27年度）」に移

動通信用鉄塔施設整備事業とあきた未来づくりプロジェクト事業を追加し変更する。

当局 通信用鉄塔施設は馬場目落合地区に携帯電話基地局を整備する。未来づくりプロジェクトは、温水プールの改修、健康づくりと介護予防の推進、地域ぐるみによる在宅生活支援、地域支え合い拠点施設の整備、元気なムラづくり推進事業などである。

委員 今回はじめて通信用鉄塔に過疎債を使うが、その前に「過疎債」の説明が必要と思う。また過疎計画の変更を加えた全体計画書の提出が必要だ。過疎計画に盛り込まれてなければ、過疎債が使えない事を説明しないといけない。これで携帯電話の不感地帯は解消されるのか。

当局 道路に関しては不明だが、集落はこれで解消となる。

教育民生 常任委員会

消防庁舎建設 当局提案の建設予定地は 下山内へ 委員会では反対多数

消防庁舎建設のための事業費（3,526万・主に調査設計委託料・土地購入費）を巡り委員から意見が続出。当局はこれまでの旧米山産業跡地から下山内の五一中入口周辺を建設予定地とした。委員からは「将来の町づくりの視点が见えない」「現場の声では西野入口を望む声が一番多い」「当局の説明に不満はあるが、100点満点の所はない」など意見が出された。

結果として原案賛成が2名、反対が3名となり、消防庁舎建設に係る部分を削除・修正し補正予算を可決した。

救急車購入 同一企業3社で 入札

平成25年度高規格救急自動車購入事業は、入札の指名業者3社が全て同一企業であったことに対し委員から指摘があり、当局に指名業者の選定について詳細な説明を求めた。
当局 県内において86%がトヨタ車であり、他メーカーと比べ救急活動スペース、使用燃料、排気管の位置、患者への負担などを考慮し、トヨタ車を選定した。

当初4社の指名を予定していたが、2社が辞退、1社が業者未登録であったため、営業所間の販売競争もあると考え秋田トヨタの3社を選定した。委員からは「入札辞退の報告をしつかりすべきであった」と指摘した。

中山遺跡今年 度も調査へ

昨年に引き続き、弘前大学の調査関係者が来町し8月26日から9月10日頃まで中山遺跡を発掘する。その間、町民センターに宿泊し、約30名での発掘作業となる。平成27年度に研究成果の発表を予定している。委員からは「要望を聞いてしつかり対応するように」との意見が出た。（佐藤 慶彦）



昨年の現地説明会

宝くじ助成に 2町内会採択

宝くじ助成（コミュニティ事業助成金）に11町内会より申込みがあったが、大川町内会と新町町内会が採択された。助成額はそれぞれ250万円である。大川町内会は集会用テーブルと除雪機など、新町町内会はプレハブ倉庫とテントなど購入の予定である。コミュニティ活動に必要な備品が整備されることにより、地域に根差したコミュニティ活動のさらなる推進が期待される。



改修される温水プール

未来づくり プロジェクト 事業スタート

温水プールを活用し健康増進の取り組みを図ることや、各町内会集会所の整備を支援し、元気なムラづくりを推進するための、各種調査を実施する。

委員 悉皆調査を行なう7町内はどこか。

当局 川原町、小池町、長町、昭辰町、館町、一番町、古川町である。

委員 高齢化が進んでいる現状を把握しなければ的確な施策の展開が出来ない。限界集落は何町内か。

当局 11町内会である。

委員 温水プールの活用内容は。

当局 方向性としては体力向上、介護予防の推進であって、リハビリは考えていない。

委員 温水プールの活用による健康づくりは指導員の養成や専門家の指導を仰ぐべきだ。大学などのバックアップも必要だ。全国でも例がないのでモデルとなるような取り組みをしてほしい。（石井 光雅）

委員会 焦点

商店街振興事業が実施される

こんなことを審議しました

産業建設 常任委員会

朝市通り空き店舗の活用とイベント広場の整備を進めるために、商店街振興事業が実施される。

委員 緊急雇用による空き店舗の活用は、物産販売などを行なうのか。

当局 旧正札を利用して結海、大槌町などと連携を図り、物産販売や軽食コーナー設置などを考えている。事業主体は「あったか五城目」で、県の緊急雇用を利用し4人雇用して対応する。

委員 朝市推進費で商店街の空き地を整備し、どのような活用を考えているのか。

当局 イベント広場として、国民文化祭のプレイイベントや本イベント、きやどっこまつりなどでテントを設置し、物産販売や各種コーナーを行ないたい。



旧正札の空き店舗が活用される

県道能代五城目線 湯ノ又橋が改修される

以前から通行に支障があると指摘されていた湯ノ又橋が県の事業として今年度中に改修されることになった。それに伴い水道管の移設が必要となり、本定例会で関係予算が計上された。

委員 県道が一部通行止めとなり、工期が10月から3月になるので、除雪の関係で迂回路の通行に支障をきたさないように配慮すべきだ。

当局 通行車両に迷惑がかからないように万全を期して対応する。（佐々木仁茂）



改修が決った湯ノ又橋

一般質問

間口除雪をもっと利用しやすく！

町長 利用条件範囲を緩和する



齋藤 晋
(21期会)

国民文化祭朝市サミットと 1年前プレイベント開催

齋藤 1年前プレイベントは今年10月20日に開催されるが、プレイベントは本番イベントを宣伝し本番イベントがスムーズに実施されるためのイベントである。町の宣伝と朝市振興のためにも是非イベントを成功させなければならぬ。事業内容は本番イベントと同じか。

町長 プレイベントは秋の朝市祭り、きのこと祭りと同時開催となる。

だまこ鍋などの食のコーナー・小学生による朝市体験学習コーナー・物産協会物産展コーナー・五城目グルメコーナー・フリーマーケット・商店会による100円商店街・県内朝市招致出店コーナー・全国朝市サミット協議会参加団体出店コーナーなどを予定



市神祭のおみこし

齋藤 現在朝市の出店数はどのくらいか、朝市振興の今後の方針は考えているか。

町長 昨年実績では、1年間述べ数5,625店1日平均約38店である。天候や季節によりばらつきがあり、23年度の96%となっている。

500余年の歴史ある朝市を、誇れる状態で次世代に引き継ぐのが我々の責務である。そのため会場や出店環境の整備などを実施し誘客の促進を図り朝市振興に努めたい。今年には朝市イベント広場整備・販売台購入なども予定している。

齋藤 朝市の振興は町の振興にもつながるため、出店者に対する優遇策・補助策・誘客PRなどが必要である。

高齢者世帯など除雪支援事業の条件緩和は出来ないか

齋藤 間口除雪の利用条件範

囲緩和を。

町長 近隣に親族がいる場合対象にならなかったが見直す。又、ガスタンク・油タンク・トイレ付近も作業範囲とする。

齋藤 高齢者のために、喜んでもらえるよう使い勝手が良いようにさらなる改善を求める。

町有地の調査・管理は適切に実施されているか

齋藤 町有地の調査・管理は適正か、管理上の問題はないか。

町長 町有地には行政財産と普通財産とがあり、9月定例会に決算付属資料として「財産に関する調査」で報告している。管理上の問題は、草刈りの時期が遅れ関係町内会から早期の草刈り依頼があることと、町有地を貸与した会社が昨年度破産したため貸付料が未納となり、25年度に滞納繰越になっている。今後は未納金が発生しないよう事務改善に努めたい。

一人暮らし老人の安全安心対策は充分か

齋藤 5月28日に83歳になる一人暮らしの男性が死後約3

日経過して発見された。一人暮らし老人だけでなく、高齢者が安全に安心して暮らせるよう町の体制を伺いたい。

町長 一人暮らし老人と身体障害者に対し「緊急通報システム事業」としてペンダント型無線発信機と緊急通報電話事業を実施している。民生児童委員と町内会からの協力が不可欠である。今後の対策をさらに推進するため、地域ネットワーク体制を検討したい。

齋藤 新聞配達・郵便配達・宅配業者との見守り協定締結を。

町長 他の自治体の取り組み例は、地域の弁当屋と乳酸飲料配達業者に委託し、安否を確認してもらう事業・郵便局とタイアップした「元氣確認ポスト事業」などがある。本町においても内容を精査し早急に検討すべきと考える。

その他に

○プレイベント予算は充分か
○新名物の開発、売り込みの予定は

○間口除雪の排雪と除雪時間の増は出来るか

○町有地の賃貸契約の明確化

○町有地の売却促進を

○伝統と文化の継承と保存を

○伝統と文化のデジタル保存を確実に実施

質問しました。

子宮頸がん検診に

HPV(ヒトパピローマウイルス)検査の併用検診を

一般質問

町長 HPV併用検診の実施を検討する



煙澤 洋子
(公明党)

煙澤 日本では年間1万5,000人が発症し約3,500人が死亡している。頸がん年令が若年化し、妊婦が高令化して、妊娠と頸がん年令が重なり、妊娠前・妊娠中の発症が急増している。

細胞診の検出感度は70〜80%だが、HPV検査はDNAレベルで検査するため、見落としはほとんどない。

陽性でも正常に戻っていく細胞にも反応するため、併用の検診が必要だ。両方陰性の場合、3年後の検診でよい。

免疫力により自然に消滅する細胞もあり、すぐにがんを発症するわけではないが、100種類以上あるHPVの型を特定すると将来の危険性を予測できる。

町長 従来の検診にHPV検査を組み合わせることで、検

診精度がほぼ100%になる。がんの早期発見のため、HPV併用検診実施に向け、費用

及び個人負担について検討していく。

タクシー無線を活用

災害情報通信で協定を

煙澤 災害時停電などで連絡を絶たれ孤立した際、情報手段がなく命の危険がある時、タクシー無線を活用した情報収集で、町民の命と財産を守

つてはどうか。小回りが利き町内であれば無線が届くタクシーは、災害時に情報発信し、

町民を救う事が可能だ。協定を結ぶ考えはあるか。

町長 町にあった情報伝達システムについて検討中だ。今年度は、Jアラートのシステムを構築する。タクシー無線活用協定は貴重な提言と受けとめ検討していく。

小中学校の熱中症対策に ランニングコストの低いミストシャワーを



小・中学生の熱中症対策を万全に

煙澤 ここ数年の猛暑による熱中症で亡くなる人の数は年々増えて

おり、救急搬送された人は、全国で53,843人、そのうち7歳から18歳までの児童生徒は6,045人となっている。2007年、他県では

中2男子がバスケットの練習中に熱中症になり死亡している例がある。当町の小中学校の昨年の猛暑時の教室、体育館、グラウンドの気温の統計は。熱中症と思われる症状で病院受診、入院、欠席した生徒数はどうなっているか。ミストシャワーは安価で設置でき、周囲の温度を下げる効果がある。

教育長 本町では統一して気温の測定はしていない。医療機関での受診や保健室利用などの熱中症の発生病例はなかった。ミストシャワーによる対応は効果的な対策と考えるが、発症が部活動などの際に多く、こまめな水分補給や休憩をとるなど健康管理の徹底を図りたい。

ショッピングセンター などを期日前投票所に

煙澤 投票率上昇の取り組みは、自治体の役割だ。期日前投票所の柔軟な配置をしてはどうか。ショッピングセンターに設置している自治体もある。

町長 選挙の確実な執行を検討した場合、弊害となる点が多く、当面は現行の実施となる。

高齢者の 生活支援施設が必要だ。

一般質問

町長

新規建設は厳しいが
老人施設と協議し検討する。



倒産したショートステイ施設



石川 交三
(日本共産党)

石川 高齢者で一人暮らしや夫婦のみの世帯で、独立して生活することに不安のある方が増えている。特に冬が大変だ。離れて暮らす子どもは親を心配している。介護支援機能や交流機能を備えた協同で暮らせる支援施設が必要だ。

町長 新規の建設は施設建設費、人員配置など大変厳しい状況だ。既存の老人施設を活用しての設置はある程度可能かと思われる。老人施設など

と協議して町の空き家対策も含めながら検討していきたい。

石川 介護施設に関する許可について、県からの権限委譲の現状はどうなっているのか。ショートステイ施設が突然に閉鎖となり、職員は全員解雇され、入居者と関係者は移転先の施設探しに翻弄された。町として介護施設も含め、全体を把握する必要がある。

町長 権限委譲は県内6市町村が受け入れている。わが町では専門職の配置や人員増の関係で厳しい状況だが、今後の受け入れについて検討する。

県道崩落でネコバリ 岩まで車で行けない

石川 北ノ又とネコバリ岩の中間点で県道の谷側が大きく崩落し通行止めとなっている。観光客が残念がつており復旧を急がなければならない。

町長 町の観光スポットへの重要な路線だが、一昨年から路肩決壊や法面崩落が発生し、県では通行止めとしている。1日も早い道路復旧を要望している。県と米代西部森林管理署とで復旧に向けて用地や工法について協議し、10月頃までに開通予定と伺っている。

石川 馬場目岳の登山口まで



県道の崩落現場

も行けない状態だ。通行確保はいつになるのか。

町長 復旧を要望しているが、崩落規模が大きなことから現在検討中としか伺っていない。今後も県に働きかけていく。

茅葺民家の保存は？

石川 映画のロケ地にもなり観光客も増えたが、廃屋に近い状態のものもあり、このままでは景観が損なわれる危険性がある。保存も含め馬場目岳周辺の整備をどう考えているのか。

町長 4棟のうち2棟が空き家状態で所有者自身、経費を掛けて屋根の修復を行なう可能性は低く、このまま放置していくと周辺の景観を損なう。積極的に保存に努めるために早急に所有者と協議し対応し

たい。山村の「憧憬空間」の再生を目指したい。

石川 落合町内から北ノ又間の併用林道「杉沢林道」は、県道崩落などで北ノ又が陸の孤島とならないよう、通行を確保しておく必要がある。

町長 北ノ又への幹線道路は、狭く法面も急勾配で行き止まり路線でもあり、土砂崩れなどで集落孤立の可能性もある。迂回ルート確保のためにもこれまでどおり管理していく。

手作りの冊子「五城 目のむかし話」を活用 し、後世に残そう！



すばらしい手作り冊子

石川 わが町の昔からの言い伝え、物語を後世に残そう。

教育長 愛郷教育のために、子どもたちの読み聞かせに活用していきたい。

財政負担も考え、 身の丈にあった図書室の移転・整備を

一般質問

教育長 今のスペースは十分と言えない

町長 十分調査し検討する



佐藤 慶彦
(無会派)

佐藤 中央公民館図書室は利用者もほとんどなく手狭であり、五城館や朝市ふれあい館、改築予定の五城目小学校などに移転し、一般の人が利用しやすい環境や蔵書を揃えた図書室を整備すべきである。

教育長 現在の図書室のスペースは十分とは言えず、これまでも検討を重ねてきた。住民に多様な学習機会を提供する図書室の整備拡充を図るため、ご意見を参考に検討して参りたい。

佐藤 住民が望む必要な公共施設としてアンケートを取ると全国的に図書館が上位にくる。普段利用の少ない五城館の2号館などに移転すればお金をかけず住民サービスの向上につながる。また、改築予定の五城目小学校に公民館機能を持たせ、子供も一般も利用しやすい複合施設にするというのも考えるべきである。

町長 貴重な提言であり、今

後子供たちの放課後や様々な利便性を考慮にいられて十分調査し検討していきたい。



もっと利用しやすい図書室に

新教育長の教育方針は

教育長 学校教育の目指す児童生徒像は、新学習指導要領にもある「生きる力」を身につけた児童生徒像である。

佐藤 小・中学校における課題はなにか。

教育長 基礎学力の定着が課題である。小・中学校で身につけた基礎学力が、社会人になるための基礎固めとなる。基礎学力が不足すると自分の希望する進路に進むことが大変難しいというのが現状であり、その事を高校教員時にずいぶん経験してきた。発達段階に応じた学習内容を、学ばせき時期に、確実に身につけさせる指導の徹底が必要と考

えている。

佐藤 着任して2ヶ月、町の教育行政の印象は。

教育長 児童生徒一人一人を支援し、個性を伸ばす教育の推進に努めていると感じている。放課後の子供の支援体制や、社会教育の事業も充実していると感じている。



財政負担の大きいプール

温水プールの経費削減の努力を

佐藤 改修は将来世代への大きな負担になるがどうか。

町長 改修については事業費を約2億9,000万円見込んでいます。25年度当初予算での費用から使用料を引いた経費は年間約2,000万円であるが、改修により経費削減が出来るものと考えている。改修および管理費に対する将来世代の負担は少ないもので

はないが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指したい。

佐藤 今回のプール改修は民意であると自信を持っていいか。

町長 町民の健康づくりという視点で、ひとつの施策として自信を持って実施する。

佐藤 営業努力はなされているか。

町長 今後中学校、高校の合宿誘致などのPR活動をしていきたい。

佐藤 使用料金はこのままでよいのか。

町長 近隣の使用料金を参考とし、経営的な部分も含めて、使用料金を検討するほか、プールの利活用を促進し収益をあげるため、指定管理者による管理運営も検討していきたい。

地域活性化センターの受け入れ態勢は万全か

佐藤 インキュベーションセンター（入居者の創業支援や専門的支援などをする）についてはどう考えるか。

町長 平成25年度における入居者の予測も困難なことから入居者の動向を見極め、平成26年度において適切な運営体制を確立したい。

消防庁舎の建設はいつなのか。

一般質問

町長

平成26年度、27年度2ヶ年で
建設する



石井 光雅
(青雲会)

石井 消防本部の統合による広域化は全国的に停滞している。秋田県も4ブロックの広域化推進計画が策定されたが、去年1ブロックが統合の見送りを決めた。男鹿・湖東・五城目の消防本部統合の今後の見通しは。

町長 平成19年5月1日の統合合意から6年経過した。現在負担金の負担方法などについて協議中である。

石井 統合になった場合の消防本部は。五城目署の規模は。統合離脱の考えはないのか。

町長 男鹿地区消防署に本部機能を設置する。規模は現在のままの規模を維持する。大災害に備えるために、当町には広域的な安心安全は必要であり、離脱の考えは持っていない。

石井 五城目町総合発展計画



破損した空き家

では、消防庁舎の建設は平成25年度になっているが、いつ建設するのか。

町長 平成26年度、土地造成工事、消防庁舎建築工事、外構工事の発注を行ない、平成27年度の秋には新消防庁舎で業務出来るよう進める。

空き家条例制定は

石井 管理不十分な空き家の増加は、防災、防火、衛生、環境などで多大な問題を引き起こしている。直近の空き家数は。そのうち破損のひどい空き家数は。所有者不明の空き家数はいくらかあるのか。

町長 空き家は392戸。破損のひどい空き家は70戸。所有者不明の空き家は29戸である。

石井 県内の各市町村では、空き家条例を制定しているが、条例制定の考えはあるのか。

町長 空き家は所有者個人の財産であり、所有者自らの責任において管理すべきである。条例制定の前に、適正な管理が行なわれていない空き家の所有者に対する指導助言をきめ細かに行なっていく必要がある。条例制定は、今の状況に鑑み、今年度中に制定したい。

大槌町との交流と「結海」の支援は

石井 アンテナショップ「結海」が昨年5月花巻にオープンした。開店当初は1日100から300人の来客があったが、今は10人程度に落ち込んでいる、町の支援は。

町長 毎月11日の例月事業へ「だまご鍋」の食材の提供や、結海主催イベントの支援を予定している。我が町の空き店舗で大槌町の物産品や結海取扱商品の販売も計画している。

石井 大槌町と今後どのような交流を行なうのか。

町長 今年も仮設住宅入居者

へ復興支援米を送る予定である。民間交流事業を支援し、大槌町との関わりを大事にしたい。

新教育長の抱負は

石井 小松教育長が目指す教育行政とは。

教育長 小中学校で身に付けた基礎学力が、社会人になるための基礎固めとなる。これが不足すると、将来大変厳しいのが現状であり、学ばべき時期に、確実に身に付けさせる指導の徹底が必要である。基礎学力は「生きる力」の大きな柱であり、しっかりと柱にしたい。

石井 町の小中学校で体罰はなかったか。

教育長 体罰の事実はない。体罰は絶対に許されることではないので、アンケートや面接調査を行ない、実態把握と未然防止に努める。

その他に

○今冬の除排雪、事故、雪害は

○町長3期は集大成か
質問しました。

消防庁舎建設地

富津内下山内地区に

建設までの スケジュール

消防新庁舎の建設候補地が当局から提案され、関係予算が本会議で可決された。

上記工程により建設へ向けての準備作業が進められる。

平成25年度予定

- ・用地測量設計
- ・地質調査
- ・土地造成工事
- ・下水道接続工事
- ・実施設計
- ・農地転用手続き
- ・道路占用手続き
- ・用地関係者への説明会
- ・土地の購入

平成26年度予定

- ・土地造成工事
- ・建設工事発注

平成27年度予定

- ・建設工事
- ・秋完成予定

消防新庁舎は、ドクターヘリポート・訓練塔・練習スペース・倉庫などが完備され、平成27年度の秋には新庁舎での業務が開始される。

新庁舎からの消防車・救急車の現場到着時間の目安は次の通りである。

- ・大川竜馬橋：5・8分
- ・浦横町簡易郵便局：4・4分
- ・浅見内大繁：6・7分
- ・北口赤倉山荘：9・0分
- ・北ノ又民家：17・4分

*全町的に考えると消防車・救急車の到着時間はバランスが良くなる予定である。

健康維持施設として屋内温水プールを整備

「あきた未来づくりプロジェクト」に健康維持施設として屋内温水プールを整備することが議会において可決承認された。

これは五城目町過疎地域自立促進計画に基づくもので、秋田県実施事業・県町共同事業・町実施事業からなり、事業費は国県補助金・未来プロ補助金・地方債・一般財源からなる。

屋内温水プールの整備は、高齢者などの健康づくり及び介護予防に資する健康維持施設整備のための事業である。水中運動を推進するために

水中運動プログラムを作成し水中運動推進モデル事業として実施の予定。

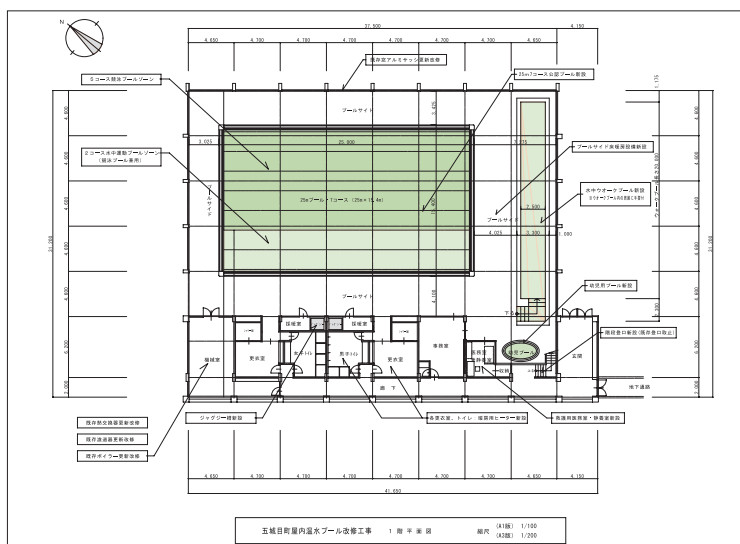
この事業は全国でも類を見ない取り組みであり、プログラム作成に向け、専門家や大学などの指導を仰ぎ、指導員も教育を受けた指導員が指導するのが望ましい、と議会から指摘の声が出た。

過疎の現状と対策

五城目町は平成2年に過疎地域に指定されて以来、過疎脱却、定住促進を目標に基盤整備事業を進めてきたが、依

然として少子高齢化、若者の流出に歯止めがかからない。平成25年5月現在で65歳以上の住民が50%を超える町内は浅見内地区・落合・川原町・小池町・長町・八田・杉沢・坊井地・恋地・館町の11地区にのぼり、それ以外の地区も5年から10年で50%を超えると予想される。

超高齢化の時代に、いち早く突入する五城目町がモデルとなり、未来プロジェクトを推進し、老人が若者が子供が、安全に安心して生活できるまちづくりを全国に発信したいものである。



請願 陳情

請願

継続審査

◆「協同労働の協同組合（仮称）の速やかな制定を求める意見書」に関する請願書

日本労働者協同組合連合会事業団
秋田・大仙事業所

所長 岡田 俊介
（紹介議員 畑澤 洋子）

陳情

採択

◆ドクターヘリの安全運航と県民の安全・安心を守るため米軍機F16とMV22オスプレイの低空飛行中止の意見書を政府にあげてください

秋田県平和委員会

理事長 風間 幸蔵

採択

◆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択に関する意見書

秋田県教職員組合

執行委員長 山縣 稔

秋田県教職員組合男鹿南秋支部
支部長 石井 孝雄

採択

◆日本政府に「核兵器全面禁止の決断と行動を求める」意見書について

原水爆禁止秋田県協議会

理事長 斎藤 重一

継続審査

◆消防署移転建設地誘致に係る陳情書

富津内地区町内会長会

会長 原田 行雄

継続審査

◆年金2・5%の削減中止を求める陳情

全日本年金者組合秋田県本部
湖東支部 支部長 土橋 茂

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

ドクターヘリの安全運航と秋田県民の安全・安心を守るため、政府は米軍

機（F16とMV22オスプレイ）の低空飛行訓練の中止について米国政府に働きかけることを求める意見書について

提案理由

秋田県は、昨年から県民の緊急的疾患の救命率向上と後遺障害の軽減を図る目的でドクターヘリ事業を開始した。しかし、米軍機（F16とMV22）の飛行訓練ルートが全県下におよび、米軍機の低空飛行訓練がもたらす危険性からドクターヘリの安全運航と秋田県民の安全・安心を守るため。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書について

提案理由

2015年核不拡散条約（MPT）再検討会議に向けて、核兵器のない世界への行動が直ちに開始されるよう、核軍縮・廃絶と安全保

障にかかわる諸機関で、日本政府が核兵器の全面禁止を望む国々と協力し、核兵器全面禁止条約の実現のための行動提起を求めるため。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
総務大臣 新藤 義孝
外務大臣 岸田 文雄

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書について

提案理由

30人以下学級を基本とする教職員定数改善計画等を早期に策定すること、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを求めるため。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
内閣官房長官 菅 義偉
文部科学大臣 下村 博文
財務大臣 麻生 太郎
総務大臣 新藤 義孝

議会議員 全員協議会

5月23日

協議案件

- （1）秋田県市町村未来づくり協働プログラム「五城目プロジェクト」について
- （2）消防本部庁舎建設について

報告案件

五城目第一中学校校舎屋根
雪害復旧工事について

五城目町 「森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟」 通常総会開催

林業の町として議員全員で林産業の振興と活性化を図ることを目的とした「林活議員連盟」の25年度総会を6月定例会終了後、開催した。

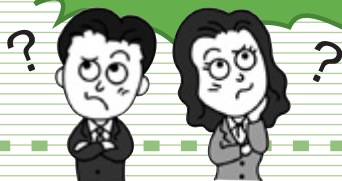
議会活動などを通じて地域の森林・林業・林産業が更に充実強化されるよう国、県、町に積極的な要請することを確認した。

会長 工藤 卓美
副会長 澤田 石亀雄
事務局長 石井 光雅
監事 畑澤 洋子
監事 佐藤 重信

（伊藤 正春）



あれ



なんとなつたべが!

平成24年6月定例会一般質問より

問

教育の充実のために「土曜塾」の検討を。

答

中学生を対象とした事業は現在保留している。土曜日や長期休みなどの実施日も含めて、生徒・保護者・学校と協議する。

現在

中学3年生を対象とした学習支援については、学校と協議し生徒が気軽に参加できる平日の放課後学習の開催を基本として、英語と数学の2教科にかかる指導員を確保し、7月から3月まで各教科週1回並びに長期休業中の学習会も開催し、生徒の学力向上に努めていく。

問

空き家対策は?

答

空き家は343戸、所有者不明は92戸である。代執行制度も含めた条例制定も考えている。空き家の台帳整理を行い28年度までに「空き家活用計画」を作成する。

現在

平成25年4月1日現在で392戸となっている。来年3月を目途に「空き家条例（仮称）」を制定すべく作業中。



問

ハザードマップを公民館や各集会所に掲示しよう。

答

早急に対応する。

現在

各地区公民館に確認し提示をお願いしている。集会

所への掲示は地区公民館から協力してもらい進めている。各世帯には平成22年3月に配付している。

問

町営住宅の払い下げと建築を。

答

払い下げは「公営住宅管理計画」を策定し県、国と協議していく。新築は需要とバランスを見極め検討していく。

現在

平成24年度に「五城目町町営住宅管理計画」を策定し、その報告書をもとに払い下げについて現在協議中。新築については管理計画をもとに民営借家住宅（アパート）などの動向を見極め、多様なニーズやライフステージに対応した住宅施策について検討している。

問

排雪の基準は? 誰が判断して指示するのか。

答

パトロールにより通行に支障が出そうな場合や町内会からの要望など除雪業者・警察・消防・バス会社などからの情報で確認し、町が判断し排雪を指示している。

現在

交差点など、除雪された雪により見通しが悪くなった場所、各町内会などをお願いしている道路除雪の堆雪場についても、パトロールや関係機関からの情報により確認し、町が判断して業者に排雪を指示している。

(石川 交三)



ハッピーライフあんど

介護員 斉藤由美子さん
(田町)



● 介護の仕事をしてから何年になりますか。

斉藤 在宅介護26年9ヶ月、施設介護1年になります。昭和59年に町社協へ勤務して、家庭奉仕員から始まり、ホームヘルパー、訪問介護員と時代と共に名称も変わりました。

● 仕事はどうですか。

斉藤 体調を崩して長年の職場を退きました。が、復帰する機会があり、人との関わりが好きなので、希望のデイサ

ービスなどをさせて頂き、施設長や職員の皆様に、とても感謝しています。

● 大変なことは何ですか。

斉藤 在宅は長いですが、施設経験は浅いので、利用者様のお名前とご自宅、業務の流れを覚え、身体状況を把握し状態にあわせた声かけの判断が難しいです。転倒には充分気をつけています。

● 心に残る出会いは。

斉藤 家庭奉仕員になった頃、なかなか心を開いてくれない方と信頼関係を結ぶことができた時は、本当にうれしくて感動しました。

● 町政や議会に意見は。

斉藤 高齢者の皆様が住み慣れた地域で、安心して生活が出来るように、医療、福祉、介護の充実に取り組んでほしい。又、介護員になりたい人達が働きやすい環境作りを望みます。

(取材：畑澤洋子)

がんばってます



大川小6年
こころさん
小熊心さん
(大川西野)

私、5才からクラシックバレエを始めました。最初はかわいいうドレスを着て踊りたいと思ったからです。クラシックバレエは、全てのダンスの基本とも言われています。みなさんがよく知っているフィギュアスケートもバレエを基本として成り立っています。

習い始めたころは、慣れない動きがたくさんあり、大変なときがありました。今は楽しくなりレベルの高い踊りにもがんばって挑戦しています。

また、4年生からは、キヤラクターダンスといって民族舞踊のリズムやステップをとりくんだ踊りも習っ

ています。クラシックバレエとちがった要素もあり、表現の仕方や体の使い方を学んでいます。

今まで毎年の発表会の他、町民文化祭や3月には国民文化祭秋田県開催を祝う県民フェスティバルにもバレエ連盟として出演しました。今年の12月には、数年に1回行われる連盟の合同発表会があり、演目は「くるみ割り人形」です。今から練習を始めています。すばらしい舞台になるように、講師の先生の指導のもと生徒も日々練習に励んでいますのでぜひ一度、発表会を観にいらしてください。

ふあいんバレエスクールでは、3才からレッスンできるクラスもあるので一緒に楽しくバレエを踊ってみませんか。

(取材：佐藤慶彦)

編集

後記



猛暑が続いていたが久しぶりの雨にはっとひと息。春からの低温で田植えが遅れ、さらにイネヒメハモグリバエの30年ぶりの大発生で大きな被害となった。梅雨入りしたがカラ梅雨にならないければよいが……。

懸案の消防庁舎建設地が決定。町中心部から離れているなどのさまざまな意見があった。熟議のうえでの議会の意思であり、町民の安心・安全を確保する防災の拠点センターとしての機能を担うことになる。

高齢化の進展により限界集落が11町内。準限界集落も相当数あり集落の機能強化が今後の課題になる。県との未来づくり協働プロジェクトでは温水プールの改修と水中運動のできるスペースの設置、地域支え合い活動の拠点として集会所の整備などが進められる。高齢者が健康で安心して暮らせる町づくりが一層促進されるよう期待したい。

伊藤 正春 記